

暦の上では立春を過ぎましたが、まだまだ寒い日が続いております。皆さま、お変わりありませんでしょうか。私たちは極寒の阿蘇をちょこっと抜け出し、沖縄へ行ってきました。ちょうど農閑期の真っただ中で農作業はひと休み。まずは沖縄ツアーのご報告から始めたいと思います。



「島の女性たちを元気にしてほしい」という趣旨で、沖縄最北端の離島・伊平屋村（いへやむら）からの講演依頼が舞い込んできたのは去年の暮れ。春休みや夏休みは農作業が忙しくてどこにも連れて行ってあげられないので、子供たちに「手伝うなら連れて行くよ」と提案したところ、学校と幼稚園を自主休校して張り切ってついでにきました。本当にカバンを持ったり、講演の準備や後片付けを手伝ったり、大人たちから聞かれる質問に答えたり、となかなか頑張ってくれました。



伊平屋村は、沖縄本島の中部にある港からフェリーで約1時間半。人口が約1400人で、基幹産業は農業と漁業。観光地としてはあまり知られておらず、民宿が数軒あるだけです。島を盛り上げる起爆剤になれば、という思いで、村役場が「世界農業遺産」に申請したものの、国内選考で外れてしまいました。実際に

お会いした女性たちは明るくて元気でしたが、それが経済や村の活性につながっていない、とのこと。私の話が皆さんのお役に立ったかどうかは分かりません。でも、「こんなことをやってみたい、みんなでやりたい」という夢を描くきっかけになればなあと思いながらお話をさせて頂きました。講演会には70人くらい来られていたでしょうか。役場の方が驚かれるほどたくさんの質問や意見が出てきました。



そこから先が沖縄らしい。婦人会の方が中心となって企画した交流会がスタートしたのは21時。日づけが変わるまで大いに語りました。女性は忙しいです。農作業や外での仕事に加えて、家事、炊事、育児、介護、地域活動…。目の前のことに精一杯で、とても将来のことまで考えが及ばない。考えてはいるけど、何か行動を起こすことができない。概ね、そんなご意見でした。これは伊平屋に限ったことではありません。阿蘇でも同じですし、全国の農山漁村で同じような状況なのだと思います。一方、女性こそ「子供や孫のために社会や環境を少しでも良くしたい」と計算抜きで

心底思っています。今回感じたことは、いきなり多額の投資が必要な事業を計画する女性はあまりいないということ。でもボランティアでは活動や事業が続かないということ。だから、女性たちの「こんなことしてみたい」という暮らしに密着したアイデアを、細々とでも事業として続けられるような方法を誰かが一緒に考えてあげることから始めればいいのか、と思いました。そんな私も、アイデアはいくらでもあるけど、事業化すると何から始めていいかわからない1人ですから。



さて、普段とすこし趣向の違う「よかこ通信」となっていますが、そのまま続けます。1月の終わりに、「地方創生フォーラム」という催しが熊本で開催され、石破地方創生大臣がお越しになりました。九州沖縄ブロックから私を含む8人の実践者がパネリストと呼ばれ、どんな「地方創生」をしているかの発表をしました。その時も「女性の力をどんどん引き出したい」という石破大臣のお話がありました。私からは、農村こそ子育てがしやすい場所になっていって欲しい、との願いをお伝えしました。



そのフォーラムに沖縄代表として来られていたのが、伊平屋島のお隣にある伊是名（いぜな）島で NPO 活動をされている方。「せっかく伊平屋まで来るのなら、うちの島にもぜひ来てください。そしてせっかくならお話しフォーラムに沖縄代表として来られていたのが、伊平屋な状況なん



て下さい。」とのお誘いを受け、ホイホイと乗りました。空家をリフォームして宿泊施設にしている民家に泊まらせて頂き、16km²しかない島内を巡り、夜は講話をした後にバーベキュー。2月に屋外でバーベキューをしたのは初めてです。子供たちも島の子供たちと仲良くなり、翌日、全校生徒80余名の小学校を訪ねてきました。伊是名島は1世帯当たりの子供数がなんと日本一。人懐

っこい子供たちに触れ、不便なこともいっぱいあるだろう離島の暮らしの中で、地域みんなに育てられている子供たちの姿に感動しました。

ところで沖縄本島やんばる地域に、阿蘇を經由して農家になった友人がいます。阿蘇から出て行ったときは寂しい思いをしましたが、沖縄に訪問先があるというのはなかなかいいもの。親子で転がり込ませてもらい、そこでのローカルライフを体験させてもらいました。畑に行ったり、山で野生のヤンバルクイナを見たり、海辺の公園で遊んだり。沖縄では目下「春野菜」の最盛期。畑はたくさんの野菜で賑わっていました。新規就農して、慣れない作業もしながら、販路も見つけて生活していくのは並大抵の努力ではないと思います。台風の直撃を何度も受けながらも、でも自分の選んだ道だから、と楽しそうにしている様子を見て、こちらまで嬉しくなりました。



沖縄から帰ってきた翌日、今度は「食と農のフォーラム」に出させて頂きました。俳優の辰巳琢郎さんやテレビ朝日のキャスター渡辺宜嗣さんも出演するイベントで、地元のKABでは2月28日13時から放送されるそうです。お二人ともとても気さくな方で、楽しく討論させて頂きました。全国の美味しいものを食べ歩いている「食いしん坊」の辰巳さんに向かって、「きっと私の方が美味しいものを食べてます」と挑戦状(?)を出したら「そうだと思います」とあっさり(笑)。旬のものを獲

れたてで食べられる今の暮らしを改めて贅沢だと感じた次第です。出演の予定がなかったくまモンも駆け付けてくれて、大いに盛り上がり、あっという間の2時間半でした。

そんなこんなで、2月は農閑期なため、事務や農作業以外の仕事を中心ですが、3月に入るといよいよ田んぼの今シーズンが始まります。まずは堆肥の準備から。目下、畑で発酵中ですが、それを数回「切り替えし」と呼ばれる作業で混ぜて空気に触れるようにし、気温の上昇とともに発酵を促します。移築のために解体した育苗用のハウスも建て直します。水路にたまった泥もすくい出します。牧野では野焼きも行われます。来月



の通信でまたゆっくりご報告しますね。それでは皆さま、どうぞお元気で。春はもうすぐそこです！